「法華津湾周辺の崩壊地と付加体の地質」勉強会

関西支部　若手技術者支援企画

主催：（公社）日本地すべり学会関西支部・京都大学防災研究所徳島地すべり観測所

日本地すべり学会関西支部では若手技術者の方々に技術習得と交流の機会を設けるため，2022 年度より現地地形・地質見学を含めた勉強会を実施しています．今回はその第 2 回で，2018 年 7 月の豪雨で多数の岩盤崩壊が発生した愛媛県宇和島市から西予市にまたがる法華津湾周辺の崩壊地を見学するとともに，付加体の地質について学びます．

日　　時：　2023 年 6 月 30 日（金）　8:45～17:00　（岡山方面から JR 松山駅に 8:36 に到着する特急に出発時間を合わせます）

集合場所・移動方法：　愛媛県 JR 松山駅改札前．現地まではバスまたはジャンボタクシーを利用して移動します．行程は一部変更になる場合があります．

行　　程：　8:45　JR 松山駅前受付
11:00 西予市道の駅どんぶり館（西予ジオパーク展示見学・昼食）
12:40 野福トンネル展望地（地形解説）
13:00 西予市明浜町俵津（付加体を構成する地層の見学）
13:30～16:00 宇和島市吉田町白浦（2018 年 7 月豪雨崩壊地徒歩見学）
18:00 ごろ JR 松山駅（解散）
18:30 交流会 JR 松山駅近辺

参　加　費：1500 円（保険・資料印刷代），この他に昼食代，交流会に参加される方は夕食代も必要です．（昼食代 1000 円程度，夕食代は 4000 円程度を想定しています）．

参加費は昼食時に集めます．おつりの無いようにお願いします．

定　　員：15 名（先着順，ただし６月１日より６月２０日が申し込みの受付期間です）

申し込み方法，問い合わせ先：
下記のメールアドレスに，氏名，所属，生年月日，住所，連絡先（できれば携帯電話番号）を記入して送信してください．問い合わせも同じく下記メールまたは電話でお願いします．集めた個人情報は保険加入のためのみに使用します．

京都大学防災研究所徳島地すべり観測所　見学会担当（山崎）
〒778-0020 徳島県三好市池田町州津藤ノ井 492-1　TEL: 0883(72)1075
E-Mail: kengaku@landslide.dpri.kyoto-u.ac.jp

※参加は若手（４０歳代以下）に限りませんが，定員を超える場合は若手を優先させて頂きますのでご了承下さい．（一社）建設コンサルタンツ協会の CPD 付与を予定しています．

以上

参考写真

2018 年 7 月豪雨で発生した崩壊地の一つ．砂岩中に形成された厚い破砕帯があり，破砕物質が崩壊，流動化した結果，大被害となった（現在は厚い破砕帯が観察できる）．

2018 年 7 月豪雨で発生した最大規模の崩壊地．風化した砂岩の崩壊で，深層崩壊と言えるほどの規模であった．沸石などの脆弱鉱物が含まれた砂岩で発生した（ここでは，地形観察のみを予定している）．

多数の断層によって変形した砂岩．斜面内部の岩盤には付加作用などで複数の断層が形成されており，それが崩壊のすべり面となっている例が多く認められる．